

塩害①

塩害劣化した海洋構造物を、以下の2種類の工法で補修し、その効果を比較した。

「樹脂系被覆材」

「亜硝酸リチウム含有ポリマーセメントモルタル」

補修後10年経過した時点で実施した追跡調査の結果を以下に示す。

【樹脂系表面被覆材による補修箇所】



鉄筋に沿ってひび割れが発生し、錆汁が多量に析出している

鉄筋腐食の進行を抑えられず、再劣化

【亜硝酸リチウム含有PCMによる補修箇所】



補修後10年経過しても、コンクリートの健全性が保たれている

鉄筋腐食の進行を抑制している